

地域医療支援病院・地域がん診療連携拠点病院・臨床研修指定病院（基幹型）

**労働者健康安全機構 新潟労災病院**

〒942-8502 上越市東雲町1-7-12 電話：025(543)3123

FAX：025(544)5210

ホームページ：http://www.niigatah.johas.go.jp

新年の御挨拶

院長代理 小池 宏

新年明けまして、おめでとうございます。昨年を振り返ってみますと、一昨年同様に当院にもいろいろなことがありました。皆様方には、いろいろと御心配、御迷惑をお掛けしましたこと、ここに御詫び申し上げます。4月1日に入江誠治先生が院長に就任されることが決まり、ようやく当院もいい方向に動き始めました。これまで医師確保がなかなか進まなかったのですが、4月には内科医が増員される見込みです。当院を巡る状況については、依然と厳しいと言わざるを得ませんが、明るい兆しが見えてきましたことを、まずは御報告させていただきます。

診療部門ですが、整形外科は常勤医9名体制で年間1000例を超える手術を行っています。脳神経外科は昨年10月にメンバーが交代しましたが、急性期治療はもちろんのこと、他院で急性期治療を終えた後にリハビリテーションを必要としている患者さんも受け容れています。歯科口腔外科・口腔インプラント科では、発達障害児（者）の歯科治療など一般歯科医院では扱いづらい疾患の治療に力を入れています。腎臓内科では人工透析を必要とする患者さんの数が増加したため、コンソールを増やして上越地域の他施設と連携を図りながら人工透析医療を進めています。健診外来も人間ドックやアスベスト検診をはじめ、従来通りの業務を継続しています。紙面に限りがあることから、他の診療科一つひとつについて状況を御知らせすることはできません。御了承下さい。当院の診療に御支援下さいました皆様方には、この場を御借りして御礼申し上げます。

当院を頼りに通院して下さる患者様方には御不便をおかけし続けてきましたこと、さらに救急車の受け入れ要請や地域の医療機関および介護関連施設からの診療要請に十分に応えることができなかったこと、大変心苦しく思っています。改めまして、ここに御詫び申し上げます。また、職員の皆様方には、



その持っている力を十分に発揮する場を提供できなかったこと、当院の将来や一人ひとりの将来について不安を抱かせてしまってきたこと、御詫び申し上げます。

昨年3月には2025年の地域医療構想がまとめられましたが、当院としましては、この上越地域で当院に求められている役割を担っていただけだと思っています。職員一人ひとりができること、やるべきことをやって、この難局を乗り切っていきます。皆様方の御理解と更なる御協力を、改めまして御願ひ申し上げます。

♪♪ クリスマスコンサートが開催されました ♪♪

平成29年12月20日、新潟労災病院1階ロビーにおいてクリスマスコンサートが開催されました。

今年も昨年同様、『Halau Hula O Lihau (ハーラウ・フラ・オ・リハウ)』の皆様によるフラダンスが披露されました。

見に来ていただいた皆様とフラダンスと一緒に踊るコーナーもあり、南国の雰囲気を感じて、より身体も心も温まったように感じました。



『喉を鍛える』

主任言語聴覚士 森田 浩



皆さんは喉を大切にしていますか。日中はお喋りを楽しみ、時には歌を披露し、多種多様な味と形状・温度の食物を飲み込み、毎晩刺激的な飲料を嗜み、発がん性の高い煙を吸い、仕事や排泄の際に息み、風邪をひいたとっては咳をして喉を酷使しています。更に、睡眠中は鼾と逆流の脅威に晒されています。

平成 23 年に肺炎が日本人の死因の第三位になり、近い将来第二位になると予想されています。肺炎の殆どが誤嚥性肺炎であること、誤嚥性肺炎の原因の殆どが不顕性誤嚥（咳を伴わない誤嚥）であることは承知の事実です。では、誤嚥性肺炎になり易い人かというと、年齢では 70 歳以降、性別では男性に多いことも分かっています。私自身、50 歳を過ぎた頃から唾液で咳を伴うようになりました。男性は、解剖学的に加齢と共に喉頭が下がり、嚥下運動の際に挙上する距離が長くなりタイミングのずれを生じることが大きな原因のようです。これからの健康寿命を支える鍵は、不顕性誤嚥（特に睡眠中の）を予防することだと考えます。

では、不顕性誤嚥を予防するための方法を考えてみましょう。一つ目は、喉を鍛えること。最近、週刊誌や健康関連の雑誌、某動画サイトや某通販サイトでは、喉を鍛えることをテーマにした特集や動画・書籍が盛んに紹介されています。例えば、言語聴覚士が行う摂食嚥下リハビリテーションの訓練手技として、舌骨上筋群を鍛える為の開口訓練が「喉E体操」として、食道入口部を開大する為の種々の訓練手技が「嚥下おでこ体操」「喉仏キープ体操」として分かり易く紹介されています。二つ目は、就寝時の姿勢を工夫すること。これからは側臥位、究極は「完全側臥位」で寝ることが、不衛生な唾液の誤嚥を予防してくれるでしょう。三つ目は、口腔ケアを徹底すること。これに糸ようじやフロスを加えれば更に功を奏すると考えます。私は、日頃から喉を酷使するせめてもの手当てとして、年に二回程歯科医院で歯石除去をお願いしています。終わった後は、元気を頂いた気分です。最初の頃は、歯磨きの仕方を指導されましたが、近頃はお褒めの言葉を頂けるようになりました。これからも欠かさず通い続けたいと思います。担当の歯科衛生士には、足を向けて寝られない心持ちです。

不顕性誤嚥の予防に取り組み、益々の健康長寿社会が到来することを願っております。





第 43 回新潟労災病院 合同研修会のお知らせ

平成 30 年 2 月 8 日(木)18:30 から
当院3階会議室にて開催いたします

【 演 題 】

「脳卒中地域連携パスとその運用について」
新潟労災病院脳神経外科部長 青木 悟 他

「CT・MRI共同利用について」
新潟労災病院医事課長 内村 一郎

参加ご希望の方は TEL または FAX にてお問い合わせください
担当:新潟労災病院医事課 内村・篠沢
TEL 025-543-3123 FAX 025-543-7110



新潟労災病院の理念



“働く人の健康を守り、地域の急性期医療に貢献します”

新潟労災病院の基本姿勢

1. 良質で安全な医療を行います。
2. 患者の権利を尊重し、患者中心の医療を行います。
3. 地域の急性期医療を担当する高機能病院として、救急医療を行います。
4. 働く人の健康を守ります。

患者さんの権利

1. 人間としての尊厳をもって医療を受ける権利
2. 当院の提供する良質で安全な医療を受ける権利
3. 自らの健康状況を理解するために必要な情報を、当院から得る権利
4. 当院の提供する医療の内容および予測される結果について説明を受ける権利
5. 他施設の医療者の意見（セカンドオピニオン）を求める権利
6. 当院から必要な説明を受けたうえで、自分の自由な意思に基づいて選択し、あるいは拒否する権利
7. 診療に関する記録の開示を求める権利
8. プライバシーが保たれる権利
9. 医療費の報告および医療費の公的援助に関する情報を受ける権利

患者さんの責務

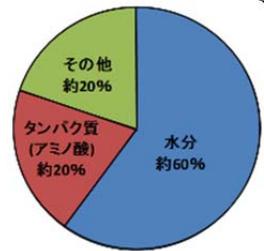


1. 自らの健康に関する情報を正確に医療者に伝える責務
 - ・最適な検査や治療を受けるために、自身の健康に関する情報を詳しく正確に提供してください。
2. 診療等に関して自らの意思を明らかにする責務
 - ・医師から十分な説明を受けた上で、診断・治療方針について、自らの意思を明らかにしてください。
3. 診療等に関する指示や助言を守る責務
 - ・診療を円滑に受けるため、医療従事者の指示や助言を守ってください。
4. 病院の規則に従い職員や他者へ迷惑を掛けない責務
 - ・すべての患者さんが、安全で良質な医療を受けられるように配慮するとともに、当院職員が適切な医療を行うのを妨げないよう協力してください。

人間ドック／がん検診のご案内

アミノインデックス検査とは

アミノ酸は筋肉や毛髪、皮膚の原料となるもので血液中に20種類あり、そこに遺伝子が働いてタンパク質が合成されます。その中で、がんになると増えたり減ったりするアミノ酸があることが知られています。その濃度のバランスからがんになっている確率を調べるのがアミノインデックスです。



[人の体の成分]

検査内容	採血(1回 5mL)
評価項目	男性(胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、前立腺がん) 女性(胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、乳がん、子宮がん)

1日ドック

がんと生活習慣病の一般コース (胃内視鏡検査なし) **27,540円 (税込み)**

1日ドック検査項目 (お食事券がつきます)

身体計測	身長体重 体脂肪 インボディ(骨格筋量) 腹囲 BMI
眼と耳の機能	眼底 眼圧 視力 聴力 問診 診察 情報提供と説明 指導
生理機能	胸部X線 呼吸機能 肺年齢 血圧 心電図 心拍数
血液	肝腎機能 血糖 脂質 血球 炎症反応 血液型(初回)
尿	尿蛋白 尿糖 尿潜血 ウロビリノーゲン PH 比重 沈渣
消化器	便潜血(2回) 超音波 上腹部+下腹部

お手軽ドック (生活習慣の簡易コース)

13,500円 (税込み)

お手軽ドック検査項目 (検査のみのコースです。医師診察はありません)

身体計測	身長体重 体脂肪 インボディ(骨格筋量) 腹囲 BMI 問診
眼の機能	眼底 生理機能 胸部X線 血圧 心電図
血液 (肝・血糖・脂質)	AST(GOT) ALT(GPT) γ -GT(γ -GTP) 血糖 HbA1c 中性脂肪 HDL・LDLコレステロール 赤血球数 血色素量 ヘマトクリット値
尿	尿蛋白 尿糖 尿潜血

歯科ドック (基本コース)

5,000円 (税込み)

歯科ドック (パノラマ撮影コース)

10,800円 (税込み)

歯科ドック検査項目

基本コース	問診・歯周病検査・プラークや歯石の付着・口腔乾燥度・冠、ブリッジ、義歯の状態・結果説明
パノラマ撮影コース	問診・歯周病検査・プラークや歯石の付着・口腔乾燥度・冠、ブリッジ、義歯の状態・X線撮影での骨病変の有無の確認・結果説明

～シニアコースのご案内～

“積極的に健康づくりを”

シニアコースは、60歳以上の方が積極的に健康づくりをするための健診です。

医療の進歩と予防の発展により、日本は類まれなる長寿国となりました。

この少子高齢、人口減少社会において安心して暮らしたいと思いますが、生活習慣病の重症化予防だけでは今までと何も変わらないでしょう。これからもできるだけ長く健康であり続けることで、生活の質を高め、長寿の幸せにつなげることは可能と思われまます。

シニアコース（男女共通）

26,730円（税込み）

コースの内容は、身体の負担をできるだけ減らして面接を重視し、内科診察の後に栄養指導を受けます。移動はワンフロアで、待ち時間を短縮しました。お気軽にご検討下さい。

シニアコース検査項目

基本項目	身体計測	身長体重 腹囲 BMI
	問診・診察・指導	情報提供と結果説明(医師) 栄養指導(管理栄養士)
	血液検査	肝腎機能 血糖 脂質 血球 炎症反応
	尿検査	尿蛋白 尿糖 尿潜血 ウロビリノーゲン PH 比重 沈渣
	腹部超音波検査	上腹部+下腹部
	頸動脈エコー検査	頸動脈の動脈硬化
	心電図検査	不整脈と虚血性病変の有無

・頸動脈エコー検査

→頸動脈は体の表面に近いので、動脈硬化を見ることができます。早期診断に有効なほか、以前から進行していないか、過去に脳血流障害が疑われて心配な場合にもお奨めです。

・内科診察と栄養相談

→低栄養や脱水の防止、身体活動を増やす工夫など、ご相談に応じます。

がん検診・生活習慣予防コース

検診コースの①～⑱の検査は、ドックにオプション検査として追加することができます。もちろん、がん検診だけでも、いくつかを組み合わせるの実施も可能です。

(★は1日ドック、☆はお手軽ドック、●はシニアコースに含まれます。)

がん検診コース

(税込み)

	内 容	ドック オプション料金	単独実施料金 (ドックなし)
①甲状腺がん	ホルモン測定 甲状腺エコー	8,100円	
②肺がん	低線量肺がんCT	9,720円	
★③大腸がん	便潜血(2回)	1,620円	5,724円
★●④腹部超音波検査	上腹部+下腹部		
⑤前立腺がん	PSA	1,836円	
⑥乳がん	マンモグラフィー撮影 乳腺エコー	9,936円	
	マンモグラフィー撮影	6,264円	
⑦子宮がん	内診 子宮頸部細胞診 子宮卵巣エコー(子宮体がんの検査を含む)	4,320円	
⑧腫瘍マーカー	CEA CA19-9 AFP	3,240円	
⑨アミノインデックス がんリスクスクリーニング検査	男性(胃・肺・大腸・すい臓・前立腺がん)	24,840円	
	女性(胃・肺・大腸・すい臓・乳・子宮がん)		

生活習慣病予防コース

骨密度測定検査が変わりました！今までは腰椎のみを測定しておりましたが、この度大腿骨頸部を追加し、測定部位が腰椎+大腿骨頸部へととなりました。2か所を測定することでより正確で詳細な結果が得られます。

(税込み)

	内 容	ドック オプション料金	単独実施料金 (ドックなし)
●⑩頸動脈の動脈硬化	頸動脈エコー	5,940円	
★⑪肺年齢	呼吸機能	3,240円	4,860円
⑫骨密度検査	X線(腰椎+大腿骨頸部)		
⑬内臓脂肪測定検査	腹部CT	3,240円	
★☆⑭インボディ測定	体成分分析装置(骨格筋量測定)	540円	5,400円
⑮睡眠時無呼吸検査	自宅で睡眠時に測定(機器貸出し)		

その他

(税込み)

	内 容	ドック オプション料金	単独実施料金 (ドックなし)
⑯肝炎検査	HBs抗原 HCV抗体	2,322円	
⑰HIV検査	HIV抗体	1,404円	

人間ドック・がん検診コース・生活習慣病予防コース・歯科ドックは予約制です。

下記①②のいずれかの方法でご予約下さい。

- ① お電話または医事課0番窓口にてお申し込み下さい。
電話 025-543-3123 内線(1233) 平日 8:30~16:00
- ② 人間ドック申込書(新潟労災病院ホームページ(<http://www.niigatah.johas.go.jp/>)よりダウンロード)に必要事項を記入し、新潟労災病院医事課へ郵送またはFAXして下さい。
〒942-8502 新潟県上越市東雲町1-7-12
新潟労災病院医事課ドック検診担当 FAX 025-543-7110



散歩道



雪が降り始め、冬を色濃く感じる今日この頃。家ではコタツから抜け出せない日々が続いております。皆さんが思うコタツのお供は何ですか？私は秋に冷凍庫へ忍ばせておいた柿をスライスしてシャーベットを堪能しております。果物は冷凍すると甘味が強くなり、生食とはまた違った食感が楽しめますね。この季節に暖房の効いた部屋の中でぬくぬくと冷たいシャーベットを頬張り、小さな贅沢を感じています。もちろん温かいおでんや焼き鳥も忘れずに。



…とまあ食べてばかりでは肥えていく一方ですが、そこは実家に帰省の都度除雪作業で汗をかいているので問題なし。…のはず。しかし、実家を離れてからは両親だけで毎日除雪しているのか。それを考えればこれも親孝行かなーと思いつつ、いつの間にかご褒美の晩御飯は何かかなーと移り変わっている私の思考回路。うーん、雪が溶けたら夏に向けて運…いや、頑張れ私の新陳代謝。

(Y. Y)